

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 22.2.26 第 174 回国会第 3 号

2 月 26 日（金）第 3 回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・前原国土交通大臣、馬淵国土交通副大臣及び長安国土交通大臣政務官に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

竹内 譲君（公明）

- ・政治主導に当たっては、国民の声に謙虚に耳を傾け、慎重な権力行使が必要だと思うが、大臣の考え方を伺いたい。
- ・前原大臣や馬淵副大臣は「個別事業の予算配分基準を国会で明らかにして審議するのが筋」と発言している。透明性や公平・公正性の観点から、この考え方を実現できる仕組みを構築することが必要だと思うが、大臣及び馬淵副大臣の見解を伺いたい。
- ・子ども手当については、雇用を生まない、現金給付から雇用支援策への転換といった国際的な潮流があるなどの点で疑問がある。子ども手当に対する大臣の見解を伺いたい。

柿澤 未途君（みんな）

- ・マンション管理適正化法の立法趣旨、目的を伺いたい。
- ・マンション居住者が支払う長期修繕計画に基づく修繕積立金の必要額を意図的に低く見せかけるようなマンション販売を行う業者に対して、国土交通省は調査、指導を行っているのか。
- ・修繕積立金の意図的な低額提示に対する罰則規定の制定を含めたマンション管理適正化法の全面的な見直しの作業を行うべきではないか。

穀田 恵二君（共産）

- ・日本航空（以下「JAL」という。）が経営破たんに至った本質的な原因と今後の再建に対しての大臣の見解をお聞きしたい。
- ・官僚の天下り、政治家との癒着というような日本の航空・空港政策の総括と今後の方向性について、大臣の所見を伺いたい。
- ・JAL再生に当たっては、安全を第一と考え、現場の労働者の声を聞くとともに、透明性を確保して、国民監視の下で解決していくべきと考えるが、大臣の決意を伺いたい。